

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	東松原保育園
活動日時	令和8年2月5日（木）
クラス名(年齢)	うさぎ組(2歳児)

1. 活動テーマ

<テーマ>

いろいろな音を楽しんで見よう

<テーマの設定理由>

使ったことのない楽器を見つけた時に、どのような行動をとるのか。どのように試して、音を発見できるのかその姿を見てみたいと思った。

2. 活動スケジュール

ミュージックスタンドの楽器を自分で選んで、どのような音が出るのかを試してみる。いろいろな楽器の音を楽しんだ後に、好きな楽器を選んで曲に合わせて音を出してみる。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

ミュージックスタンド・ピアノ

4. 探究活動の実践

<活動内容>

誰もいないうさぎ組の部屋にミュージックスタンドを置いておいた。入室したときに、すぐに見つけて、その周りに集まり、気になる楽器を手に取り、音を出す。今まで使ったことのある楽器より、初めて見る楽器に手を伸ばし、どうしたら音が出るのか考えながら触れていた。触れるうちに音が出てことで、喜び、次の楽器に興味を持ち試していた。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

① ミュージックスタンドの楽器を見つけて、「わ～、すごい。」と言いながら、どのような楽器があるか、触れてみた。タンブリンをバチで叩いてみると、「トン、トン。」と音が出たよ。



② 「どんな音かな？」と、細い棒を見つけると叩いて音を出す。「わ～。」と、歓声。今まで聞いた事がない音が出た。



③ これはただの棒みたいだけど、触っているうちに、「キュツ」と音が出た。面白い音だったので、何度もだして「楽しい～」と自分で見つけた音が嬉しかった。



④ チリンチリンとなるトライアングルに合わせて、木の棒を叩いて一緒に音を楽しんだ。「きれいな音。」と言っていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

触れているうちに音が出て、今まで聞いたことのない音に興味を示しながら、楽器を変えて、音を出すことを楽しめていた。「どうやるの？」と聞いてくる子はいなかった。自分でどんどんと試すことでやり方を知り、いろいろな音を出すことができた。興味があることは、自分でいろいろと発見が出来ると思った。